

●歴史ロマンと世界の恋物語を読む

玄宗皇帝と楊貴妃の物語

白居易「長恨歌」の哀しい約束

受講生募集・無料・先着40名



■講師 山田 純氏  
相模女子大学  
日本語日本文学科  
教授(上代文学専攻)

■講座スケジュール (2021年)

●第1回 2月2日(火)午後2時~4時

実際に読んでみましょう  
—「歴史」に即した詩文の世界—

●第2回 2月9日(火)午後2時~4時

わずか50年前の事件を詩文にすること  
—「歴史」と「虚構」のはざまで—

●第3回 2月16日(火)午後2時~4時

絶対になかない願いを歌にして  
—その約束は世界が終わってもずっと永遠—

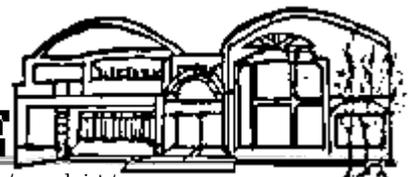
<詳細は裏面に>

■募集要領

- 1月5日(火)より受付開始 ●先着 40名 ●受講料 無料
  - 受付:午前9時から(第4月曜日を除く)
  - 新型コロナウイルス感染予防対策にご協力ください。(裏面参照)
  - 申込・問合せ:042-755-6000 ●主催 公民館文化部
- ※新型コロナウイルス感染状況によっては中止する場合があります。

木もれびの森大野台公民館

相模原市南区大野台 5-16-38 <http://www.sagamihara-kng.ed.jp/kouminkan/oonodai-k/>



# 白居易「長恨歌」の哀しい約束

## ■講座概要

この講座では、白居易の「長恨歌」を読み解きます。玄宗皇帝と楊貴妃の恋を描いたこの平易な作品は、白居易の詩の中でも特に有名でしょう。のみならず、この作品は平安以降の日本古典に決定的な影響を与えた重大な作品だったのです。しかし、この作品の解説(研究)の歴史は、混迷を極めて良いといえるのです。研究を整理して、かんたんに楽しくこの作品を解説してみましょう。

## ■講義内容

### ●実際に読んでみましょうー「歴史」に即した詩文の世界ー(第1回)

まずは、この「長恨歌」を通して読んでみましょう。長大な作品なので、時間がかかりますが、わかりにくいところはないと思います。それほどわかりやすく構成された詩文なのです。白居易は平易に書くためには何度も書き直す詩人として有名なのです。作品を読み解き、玄宗と楊貴妃の恋を歴史的に追いかけていきましょう。

### ●わずか50年前の事件を詩文にすることー「歴史」と「虚構」のはざまー(第2回)

内容はかんたんである「長恨歌」でしたが、それを解説するとなると、壮絶な論争の研究史に直面します。どうしてそのようなことになったのかというと、今から1000年前の研究書が作り上げた解説から一步も外に出られていないためです。そろそろ、その呪縛から逃れて、新しい解説を試みてみようではありませんか。

### ●絶対にかなわない願いを歌にしてーその約束は世界が終わってもずっと永遠ー(第3回)

「長恨歌」は、玄宗皇帝と楊貴妃の恋について歌われています。しかし、じっくり読んでいくと、彼らだけが歌われたわけではないことに気づきます。もう一組の男女、すなわち武帝と李夫人の哀しい恋が同時に織り込まれているとき、白居易は両者の哀しい恋を通して何を歌い上げようとしたのでしょうか。「長恨歌」の主題に迫ります。

## ■講師のプロフィール

### ●山田 純氏



1977年6月生まれ。千葉県出身。明治大学大学院で博士号を取得後、白百合女子大学・フェリス学院大学・大東文化大学・明治大学等の非常勤講師を経て、現職。主要業績に『日本書紀典拠論』(2018年5月 新典社)がある。

初めまして、山田です。名の「純」は、6月生まれだから、Juneなのだ、と父親から聞かされてきました。誇らしく感じておりました。姉は7月生まれなのに「ジュリ」でなかった点だけが「？」でした。大人になりコンビニで「宝焼酎 純」というお酒を発見しました。私が生まれた日は、この焼酎の発売日でした。それゆえの純だ、というのが真実でしょう。父の家業は酒屋で、出生の日は発売記念パーティーで不在でした。間違いありません。がっかりしました。その後、我が家で犬を飼うことになりました。その犬は5月に生まれたので、メイと名付けられました。犬と同じ名前基準の山田です。奈良時代文学を研究しています。よろしくお願いいたします。

※ 新型コロナウイルス感染予防対策へのご協力をお願い

- ① 講座当日は入口で検温をいたします。37.5度以上となった場合は受講をご遠慮いただくこととなりますので、ご了承ください。また、体調が悪い場合は受講をご遠慮ください。
- ② マスクの着用をお願いいたします。
- ③ 座席との間は距離をとって座るようにしてください。会話はできるだけ謹んでください。
- ④ トイレ休憩時および終了時は、密にならない誘導をしますのでご協力をお願いします。